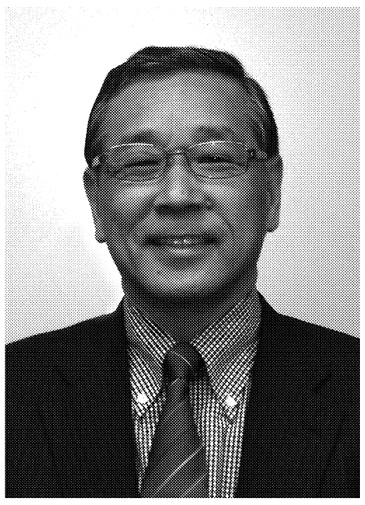
九州の企業支援機関特集2013

安倍政権の経済政策「アベノミクス」が大手企業の業績に効果を現し始めた2013年。オリンピック開催が東京に決まり、景気回復への追い風をつかんだ。14年は効果を中小企業や地方に行き渡らせなければならない。そこで重要な役割を果たすのが国や自治体などが組織する企業支援機関。九州の各機関は地域に根ざして細かなニーズに対応。技術課題の解決や産学連携、アジア進出を後押ししている。

中小企業基盤整備機構（中小機構）九州本部は経験豊かなコーディネーターが企業に密着して海外進出を手助け。福岡県工業技術センターは県内4地域に地域産業を支援する研究所を設置、相談に応じる。福岡システムLSI総合開発センターはベンチャー育成など半導体関連産業の振興を図っている。九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）は九州大学の研究シーズと企業ニーズを結びつけながら、まちづくりを推進。北九州産業学術推進機構（FAIS）はロボット産業の振興など北九州地区の強みを生かす。各機関トップに意気込みを聞いた。

中小企業基盤整備機構九州本部

本部長　**河上　高廣**（かわかみ　たかひろ）氏



中小機構にはさまざまな支援事業があり、創業や地域産業を対象とする施設や制度を用意しています。その中で現在特に力を入れているのは販路開拓と小規模事業支援。全国のネットワークを生かして首都圏や近畿への売り込みに対応します。きめ細かに支援する販路開拓コーディネート事業を展開。海外進出には展示会出展支援や市場調査のFS（企業化調査）を行います。

2014年4月からはウェブ上で企業のマッチングを行う「J－GoodTech（ジェグテック）」を始めます。大手企業と中小のモノづくり企業を結びつけるものです。掲載企業は厳選し、全国で3000社を掲載予定です。販路開拓の一環で女性の視点を生かした評価事業があります。今は地域資源活用や農商工連携で開発した食品が対象。厳しい意見が出るが参考になったと好評を得ています。

小規模事業支援は個人事業を含みます。小売りやサービス業では新商品の開発を手助けするほか商工会や商工会議所、自治体と連携していきます。他機関と連携しやすいことは機構の強みです。

福岡県工業技術センター

所長　**神谷　昌秀**（こうや　まさひで）氏

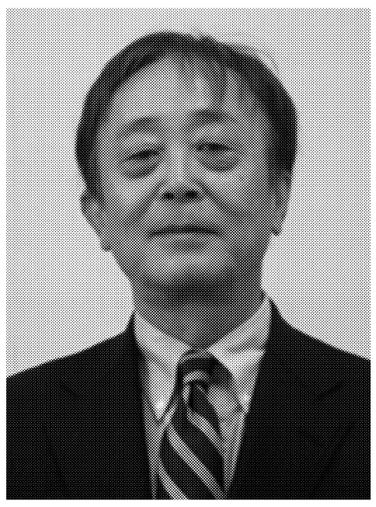
福岡県工業技術センターは「地域企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、県内企業の新製品・新技術開発を支援する機関です。化学繊維研究所（筑紫野市）、生物食品研究所（久留米市）、インテリア研究所（大川市）、機械電子研究所（北九州市）の4つの研究所をそれぞれの産業拠点に配置し、「研究開発」「試験分析」「技術相談」「人材育成」「情報収集・提供」「技術交流」「コーディネート」を基本業務に、担当分野の地域企業の発展を目指した支援を行っています。

地域企業の技術課題へ的確に対応するため、年間1万1000件の技術相談や事業化を目指した100件の共同研究開発、7000件の依頼試験、4000件の試験機器の開放利用、研究会・講習会・人材育成事業などに取り組んでいます。

近年、国や県などの支援事業が豊富になり、事業応募や実施に関するコーディネートも開始しました。当センターが持つ最新情報や技術ノウハウ、設備機器、研究開発機能などを地域企業へ惜しみなく提供し、少しでも多くの企業発展を実現しようと進めています。

福岡システムLSI総合開発センター

センター長　**藤元　正二**（ふじもと　しょうじ）氏



全国唯一の半導体ベンチャー専門インキュベーション施設である当センターは来年11月、開所10周年を迎えます。この間、福岡県が推進する先端半導体開発拠点の構築を目指す「シリコンシーベルト福岡構想」の中核施設として、「研究開発支援」「人材育成」「ベンチャー育成・支援」「交流・連携促進」に係わる様々な事業を展開し、県内への半導体関連企業集積増大をけん引して参りました。現在は文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムを活用し、6人のコーディネーターらが、社会ニーズ主導型の産学官共同開発を通じて、当センター入居企業はもとより、県内半導体関連中小・ベンチャー企業の成長支援に取り組んでいます。また、成長が見込まれるヘルスケア市場をにらんだスマートデバイスやロボティクス関連技術開発のプロジェクト化試行も開始しました。現在、当センターは約60社のベンチャー企業などが入居中（入居率約90％）であり、多くの企業が、国などの競争的資金を獲得して、製品開発活動を行っています。県内外の半導体関連企業や研究機関の方々、是非、当センターをご活用くださるよう、お願いいたします。

九州大学学術研究都市推進機構

理事長　**貫　正義**（ぬき　まさよし）氏

九州大学は福岡市内に分散するキャンパスを統合移転中であり、2019年度までに福岡都市圏西部（糸島半島）に位置する「伊都キャンパス（福岡市西区、糸島市）」へ移転を完了させる予定です。

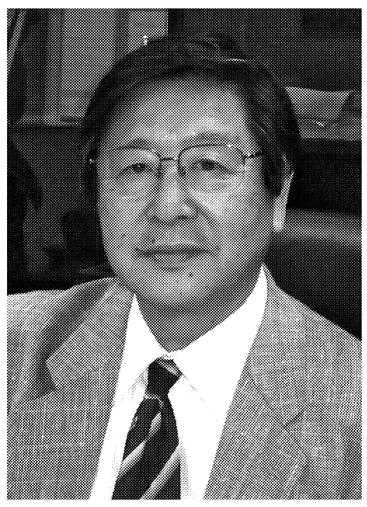
この統合移転をとらえ、豊かな自然や景観と調和した「新たな学術研究都市の構築」を目指す「九州大学学術研究都市構想」が策定され、これを実現するための組織として、2004年度に、九州大学、地元経済界及び自治体により、「九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）」が発足しました。

OPACKは九大の最先端の研究シーズと企業との橋渡しを進める産学連携をはじめ、研究機関や企業の立地サポート、居住・交通・情報などの都市インフラの整備促進など様々な事業を展開しています。

すでに、九大学研都市には産学連携施設や研究開発・産業化支援施設の立地が進んできていますが、さらなる、知の融合による新たなテーマの創出や、社会や産業界が求める研究成果の応用・実用化を促進する次世代技術の実証支援など、アジアの核となる学研都市を目指して参ります。

北九州産業学術推進機構

理事長　**國武　豊喜**（くにたけ　とよき）氏



北九州学術研究都市は地域産業振興の頭脳となるべき知的基盤を整備し、新産業の創出や地域産業の高度化、人材育成を図る目的で、2001年に誕生しました。北九州産業学術推進機構は、産学連携の支援機関として同時に創設され、産と学の出合いの場の創出や産学共同による研究会の企画運営、研究開発への助成、研究成果の事業化支援などを行っています。

本年10月にはロボット導入による地元企業のものづくり力の強化を目的に、北九州学術研究都市内に「産業用ロボット導入支援センター」を開設しました。同センターではロボット導入や生産性向上に関する専門家による助言・指導、ロボット道場での人材育成などに取り組んでいます。

北九州市はアジアの先端産業都市として、持続的な発展・成長を目指し、新成長戦略を策定しており、この戦略のものづくりの分野では自動車・ロボット・環境の3つの産業を柱に雇用の拡大を目指しています。北九州学術研究都市にはそれらを支える人材育成・研究開発拠点として大きな役割が期待されています。

「知」と「技術」をつなぎ、創造する未来　北九州学術研究都市

北九州学術研究都市には北九州市立大学をはじめとした、1学部4大学院と16の研究機関、51の企業等が集積し、活発な研究開発や産学連携活動が進められています。
大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業が11社入居するなど、「環境技術」と「情報技術」を中心に、大学の「知」が活用されています。
公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）は、入居企業の支援や産学連携活動のお手伝いをいたします。

入居企業募集中!
●貸研究室月額　2,500円／㎡（共益費含む）
●研究開発助成金制度あり

公益財団法人 北九州産業学術推進機構（FAIS）総務企画部　〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号　産学連携センター1階
http://www.ksrp.or.jp/　E-mail:info@ksrp.or.jp
Tel.093-695-3111　Fax.093-695-3010

熱処理・金属関連業界を応援します!

～九州支部の主な活動～

◆基礎教育セミナー
●これからの産業界を担う「若手技術者の育成」
●鉄鋼材料、熱処理法、破壊現象、材料試験をカバーする内容
●平成15年より開講「受講者数:600名突破」

◆技術相談窓口
●熱処理の疑問や課題に対して、「迅速なアドバイス」を提供
●維持会員向けサービス

◎当会は、その他にも会誌:熱処理の発行、各種セミナー等を多数開催しています。会員特典や入会手続きの詳細は、コチラ⇒http://www.jsht.or.jp/

お問い合わせ
一般社団法人　日本熱処理技術協会九州支部
〒807-0831北九州市八幡西区則松3-6-1　TEL093-691-0260
福岡県工業技術センター　機械電子研究所内　（担当:阿部、小野本）

日刊工業新聞は
九州の企業支援特集2013を
応援します。

先端半導体の研究開発・人材育成から事業展開までを総合的に支援する　「福岡システムLSI総合開発センター」

福岡システムLSI総合開発センターでは、先端半導体関連の主に中小・ベンチャー企業に対して、製品化のための外部資金活用の支援や、インキュベーションルーム、設計開発支援ツールの提供やシステムLSI設計、組込ソフト、実装といった分野での技術者育成講座の実施などを行っています。

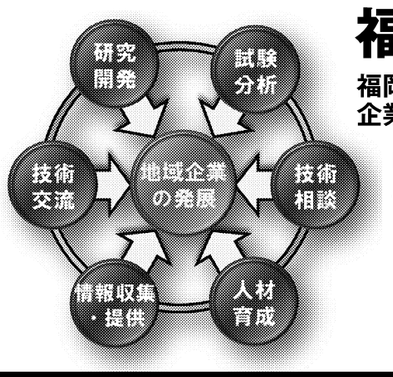
入居者募集中!
充実した機能でビジネスを支援
・インキュベーションルーム46室（20～80㎡）
・シェアードオフィス　20ブース（各8㎡）
・設計開発ブース（6ブース）
・設計開発に必要なソフトウェア（約40種類）
・試作チップの性能を評価する検証ラボ

福岡システムLSIカレッジ
福岡システムLSIカレッジでは、全国の大学や企業から一流の講師陣を迎え、質の高い独自のテキスト、教材を使用し、実践的な教育を行っています。平成13年12月の開校以来、これまで延べ1万名以上の方が、カレッジで実践的な教育を受け、企業の即戦力として活躍されています。

	システムLSI設計技術者養成講座 デジタル	システムLSI設計技術者養成講座 アナログ	組込みソフトウェア技術者養成講座	実装（JISSO）技術者養成講座
基本コース	システムLSI技術概論			
	論理回路設計	電子回路設計	C言語	実装技術概論
		MOSトランジスタ	組込みマイコン	実装工法
	回路記述言語（VerilogHDL）	バイポーラトランジスタ	ソフトウェア工学	三次元実装
		オペアンプ		
応用コース	アーキテクチャ	集積回路	車載ネットワーク	EMC/ノイズ
		信号処理	自動車/電動車両	信頼性技術
		無線技術	通信ネットワーク	熱設計
	トップダウン設計	パワーエレクトロニクス	画像処理	接合技術

お問合せ先　財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）福岡システムLSI総合開発センター　〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-8-33　TEL:092-832-1301（代表）　FAX:092-832-1309
URL:http://www.ist.or.jp/lsi/

福岡県の企業発展を目指して!



福岡県工業技術センターは製品開発、技術課題の解決に取り組んでいます
企業の皆様の技術課題について、相談をお受けしています

化学繊維研究所
セラミックス・高分子材料・繊維分野
092-925-7402

生物食品研究所
バイオ・食品分野
0942-30-6644

インテリア研究所
木質系材料・家具分野
0944-86-3259

機械電子研究所
機械・金属材料・電子分野
093-691-0231

福岡県工業技術センター　TEL:092-925-5977　URL:http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/

世界へ　アジアへ向けた頭脳拠点
九州大学　学術研究都市へ

情報の総合窓口
●九大学研都市の土地・施設情報を集約
●企業と大学をつなぐ交流会・セミナーを開催

企業立地支援
●企業向けの現地視察会を開催
●企業訪問により情報を提供

産学連携交流支援
●学術研究都市の研究環境づくりをプロモート
●立地機関の交流を支援

研究開発支援
●大学の超高圧電子顕微鏡を民間開放
●企業ニーズと九大シーズの連携を支援

公益財団法人　九州大学学術研究都市推進機構
〒819-0367　福岡市西区西都1-1-27 MJR九大学研都市駅前1階
TEL 092-805-3677　FAX 092-805-3678
九大学研都市等に関する情報はこちらへ　http://www.opack.jp

応援します、中小企業と地域の活力!

創業・新事業展開をサポート!
■地域資源・農商工連携・新連携の支援
■専門家の派遣
■インキュベーション　■ファンド
■販路開拓支援・ビジネスマッチング
■ものづくり支援

成長・発展をサポート!
■中小企業大学校（直方校、人吉校）
■海外展開支援
■まちづくり・中心市街地の活性化支援
■知的資産経営支援
■事業承継円滑化支援

もしもに備えて、セーフティネットでサポート!
■小規模企業共済制度
■経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）

インフラをサポート!
■産業用地の提供
■高度化事業

2014.04　OPEN!
～日本の優れた技術・製品.com～
J-GoodTech 募集　検索

お問い合わせ先
中小機構 九州
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部
〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園BLDG.
TEL：092-263-1500
HP http://www.smrj.go.jp/kyushu/